

患者さんへ ～臨床情報・検体の研究利用に関するお知らせ～

『研究課題名 消化器領域における透視下手技の放射線照射量 多施設前向き観察研究』

【研究の目的】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科では、通常診療における透視下内視鏡手技(内視鏡的胆管膵管造影検査、治療超音波内視鏡検査、消化管ステント、小腸内視鏡、イレウスチューブ)における実際の放射線被ばく量を調査、検討することを目的として本研究を計画しました。

この研究で得られる成果は、透視下内視鏡手技各透視下治療における放射線被ばく量基準(DRL)の設定につながります。

【研究対象および方法】

この研究は、東邦大学医療センター大橋病院倫理委員会の承認を得て実施するものです。

2019年10月～2020年12月までに東邦大学医療センター大橋病院消化器内科において、透視下内視鏡手技を受けられる患者さんを対象として、透視装置に記録された被ばく線量を解析します。

今回の研究で得られた成果を、医学的な専門学会や専門雑誌等で報告することがありますが、個人を特定できるような情報が外部に漏れることは一切ありません。

本研究に関してご質問のある方、診療情報等を研究に利用することを承諾されない方は、下記までご連絡下さい。

【連絡先および担当者】

東邦大学医療センター大橋病院消化器内科

職位・氏名 教授 前谷 容

電話 03-3468-1251 内線 2022